



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
担当者の所属・氏名 乳腺外科 部長 山内 英子

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 部長 山内 英子

【研究代表者】

徳島大学大学院産科婦人科学分野 講師 加藤 剛志 先生

当院の女性総合診療部及び乳腺外科を受診された方のうち

乳がんの診断あるいは治療を受けた方を対象とした

妊娠中の乳癌に関する研究

1.研究の対象

2018年1月～2018年12月に当院の女性総合診療部及び乳腺外科を受診された方のうち、妊娠中または産後1年以内に乳がんの診断あるいは治療を受けた方

2.研究の目的・方法

近年の晩婚化晩産化により、若年の女性に発症する頻度が多い子宮頸癌と乳癌は、発症時期と妊娠時期との重複がおこっています。妊娠中および産褥期に発見される妊娠関連乳癌は、妊娠していない時よりも発見が遅れることがあるほか、特に授乳期に発見される場合には予後が不良である可能性も指摘されています。さらに、その後の妊娠の経過や出産後の家庭環境への影響が大きく、産婦人科の診療現場では何らかの対策が必要であると考えられています。妊娠は20～30歳代が中心で、乳癌検診の対象とはされていない年代であり、妊娠関連乳癌に対する新たな対策として、妊娠を希望する女性に対する「プレコンセプションケア（妊娠前に自身の健康状態を確認しておくこと）」が期待されています。しかし、妊娠関連乳癌の発生状況や臨床的背景の正確な把握はされておらず、正しい情報に基づく啓発運動や、医療従事者に対する教育活動のあり方についても確立していません。そこで、有効なプレコンセプションケアのあり方を検討する前段階として、本邦における妊娠関連乳癌の現状を把握することを目的として本研究を計画しました。

研究対象者は、2018年1月～12月に当院で妊娠中または産後1年以内の時期に乳がんを診断または治療された方です。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》

年齢、乳癌発見時の分娩後月数、乳癌発見動機、臨床病期分類 等

《試料》

なし

4.外部への試料・情報の提供

研究代表者へ上記項目の診療録データを提供するにあたり、当院の研究責任者が本研究専用のIDを付番した対応表を作成した上で保管・管理致します。

なお、研究代表者へのデータは匿名加工の上郵送で提供します。